



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 片山博之 幹事 中村隆俊 会報委員 朝井・西川・名手・神谷

オ301回 例会 海南R.C.と合同 昭和56年9月7日(月) 午後12時30分

於 海南商工会議所

1. 開 会 司 会 片山博之会長
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介 オ266地区ガバナー 種田憲次様 大正7年2月1日生
昭和17年東大医卒後、海軍薬剤官、田辺製薬を経て46年日本
CHベーリンガーゾーン社々長、現在名誉会長、ロータリー
歴43年、大阪住吉R.C.入会、幹事、会長、特別代表、米山
功労者、PHフェロー
5. ビジター紹介 市田善行様(桜井R.C.)
6. 出席率の報告 91.67% 会員総数 48名 出席者数 44名
前回修正出席率 95.83%
7. 会長スピーチ 山西増夫海南R.C.会長
種田ガバナーには、連日公式訪問でお疲れのところ、両クラ
ブの為おいで頂き有難う。本年度は、R.I.会長のモットー
が「WORLD UNDERSTANDING PEACE
THROUGH ROTARY」である。それについて、ガ
バナーの御指導と御援助を承りたく思います。
8. 幹事報告
 - メイキャップ 中村隆俊君 8月31日 山形R.C.
丸畑邦夫君 9月2日 海南R.C.
 - 例会臨時変更のお知らせ
串本R.C. 10月6日(木)→10月8日(土) 午後12:30~公式訪問の為
 - 白浜R.C.のお世話で会長・幹事会行われる 9月6日
9. ガバナー卓話 R.I. オ266地区ガバナー種田憲次様
皆様こんにちは、今日は海南R.C.と合同例会ですが、この合同例会は人数が
多くなる欠点がある。出来るならば時間をかけ、単独でやるのが理想。
本年度R.I.会長の方針を解かりよく説明します。
会長は、ロータリーと云うのは、奉仕の為に存在すると云う事を強調している。

親睦・友情も大切だが、ロータリー存在理由ではない。ロータリーの存在理由はまず地域社会へ奉仕すると云う事だ。奉仕と云うのは、個人個人が時間を奉げ、一身を奉げ、人類の生活向上を願う事にある。ロータリアンは、一応に善意の理想を持っている基本的な力のある人々によって、組織されていると云う事が大切だが、個々に見た場合奉仕をしようとしている心の大部分は潜在している。その潜在している10%でも顕在化された場合世界は変わると云っても過言ではない。これらの点から全ロータリアンにロータリーの基本的な目標に関心を集中して頂こうと、マックヤブリー会長は、テーマとしてWORLD……を選んだのです。これはテーマとしてではなく、我々の行動目標でもあるという事を理解してもらいたい。具体的に ①R.I.のレベル ②地区のレベル ③クラブのレベル ④個人と、4項目に分けられる。

特に①について強調しているのは、R.I.会長が主催する国際親善会議を世界7、8ヶ所で、各その地区の人達を集めてやりたい。これは過去2年間大成功に終わっている。世界理解と平和の為には、国民間の理解が第一に必要であり、その国民の先兵になって、まずロータリアン同志が理解を深め、それを国民の間に広げて行く事が出来れば、真の平和が達成出来る。

最後に一番お願いしたいのは、今年は世界理解と平和を推進していくプログラムを各クラブ一つでもいいから作って、実行してもらいたいと云う事を要請しています。

※ この後、片山会長の御礼の挨拶があり、種田ガバナーに記念品が贈られ、合同例会を終える。

ニコニコ・米山・BOX

隅田卓爾君	(漆器組合の産地カタログ委員になる)
西岡 豊君	(" ")
中村隆俊君	(" ")
東 義行君	(合同での公式訪問実現出来、うれしい)
山野裕正君	(建設中の建物出来、クラブよりお祝頂く)
土岐甚五郎君	(当クラブの河尻君、米山功労者になる)
奥村匡敏君	(新聞に当クラブの役員として載る)

次回例会案内 才302回 昭和56年9月14日(月)午後12時30分 於海南商工会議所

次々回例会案内 昭和56年9月21日(月)午後12時30分

ゲスト卓話 県青少年課より係員を予定

ガバナー公式訪問クラブ協議会

※片山会長の提案で、場の雰囲気をもたげる為、童謡「村のかじや」を全員で歌い協議会が始まる。

片山博之会長 日頃の奉仕活動を御報告すると共に、御指導いただける絶好の場として活用して下さい。

種田憲次ガバナー 指導すると云うのではなく、ガバナーの立場でお世話出来る事があれば、話し合うという形で、実のある内容になる様、進めて行きたいと思えます。

※幹事の現況報告から始まって、各委員長が計画書に説明を加えて発言し、ガバナーがそれを評して行く形で行われた。(G)ーガバナー評

○クラブ奉仕（岸担当理事）

- (G) クラブ奉仕の場合は、委員会と云う名称は適当でない
(プログラムにクラブ奉仕委員会と書いている事への注意)

○出席委員会（谷井委員長）

- (G) メイキャップ出事の地理的条件から見れば、出席率95%は現況ではやや物足りないが I . G . F . 地区大会等には非常に出席率が良いので、新入会員にも今年の大会には全て出席してもらいたい。

○会報委員会（朝井委員長）

- (G) まだ当クラブの会報はよく拝見していないが、一見良く出来ている様だ。
今後会長・幹事と良く相談の上、R . I . の資料も記入すべきだ。

○親睦委員会（上南委員長）

- (G) 今年の R . I . 会長は、御婦人の協力を特にお願いしている。来年の国際大会では婦人の時間をも作る予定。内助の功がなければロータリー活動も成り立たないので、家族ぐるみの親睦活動を。

○雑誌委員会（藤田委員長）

- (G) 昨年7月から「ロータリーの友」が公式地域雑誌になり、さらに関心を深める為会員の諸君も「友」へ投稿を、又英文の「ロータリーの友」が年二回発行される。出来れば会員数の10%の購入を希望する。

○プログラム委員会（岡本委員長）

- (G) 卓話の中で、会員卓話は50%要求する。会員の卓話によって親睦を深める事もあり、性格・趣味・仕事柄が良く解かるゆえ、出来るだけ会員に卓話の機会を与えてもらいたい。

○広報委員会（山野明委員長）

- (G) 「ロータリーの友」の情報は、雑誌委員会の方が主な仕事だが「ロータリーの友」を読まれ勉強される事は結構だ。

○職業分類委員会（河尻委員長）

- (G) 分類作成には大分類・小分類がある。これを使えば充填、未充填が良く解かる。分類表は会員各位に示され、未充填部分を知る上での基本的な資料となるゆえ研究されたし。

○会員選考委員会（中尾委員長）

- (※委員長の計画書の説明に対し、別段ガバナーの注文も注意もなく、計画書) どうり実行されれば評する事はないと解釈する。

○会員増強委員会（松田委員長）

- (G) 増強に苦心している様だが、年齢的にバランスのとれた増強になる様、又発足から6年になるのだから、いろんな意味でバラエティーのある会員の増強を望みます。

○ロータリー情報委員会（柳川委員長）

- (G) 規定が年々変わっている為委員の一人を規定専属にすれば、規定委員会を作っているクラブもある。関連して新入会員は、入会前にロータリーに対してどの様な情報を得られたか—（と云うガバナーの問に対し）

中野幸生君 入会前一度委員の方の説明を受けたのと、父親がロータリー
広進之君 クラブに入っている為ある程度の知識はあったが、内容までは解らなかつた—（と同じ様な返答をする）

○ 会場監督 (楠部 S.A.A.)

(G) ニコニコの本来の意味は笑顔で入れる事だが、金額が大きくなると負担になる。限度は決まっていないが、昨年の実績を見ると相当多い。収入に関しては、各クラブの事情もあり、独自の方法で。

○ 職業奉仕委員会 (小嵐委員長)

(G) 「奉仕こそ我が務め」は、精神的・倫理的に高いところを指している。これは基本であるが、これ以外に事例研究・職場訪問・職業情報等も、職業奉仕部門としてとりあげて良いのでは。

○ 社会奉仕委員会 (平尾委員長) ○ 環境資源委員会 (向井副委員長)

○ 心身障害者委員会 (島村委員長) ○ 老年者委員会 (山野裕委員長)

(G) 地域社会と密着した活動が出来る条件下について、羨しく思う程恵まれている。地域社会のニーズをとらえ、活動しているのは結構だが、40名~50名足らずのクラブにしては、やや広げすぎている傾向も伺える。もう少し範囲をせばめても委員会の中で充分やれるのでは。

○ 国際奉仕委員会 (上田委員長)

(G) マッチド地区は3年単位で組合せが変わる。266地区と韓国の365地区と、マッチド地区になっている。この3年の期限が過ぎると、友好クラブという形で関係が続くのだが、数少ないマッチドクラブを結ばれている当クラブだから、3年過ぎても友好関係を続ける様努力してほしい。

○ 世界社会奉仕委員会 (隅田委員長)

(G) 各ロータリークラブは、他国のロータリークラブが立案した、自国の生活水準の向上に対して、役立つ計画の遂行に協力し、双方の国の地域社会間に国際理解を増進するのが、当委員会のプログラムの主旨である。

○ 国際交流委員会 (上田委員長代理)

(G) 青少年交換等は、当委員会でやられると結構かと思う。

○ ロータリー財団委員会 (西岡委員長)

(G) 266地区の中で、寄付額が平均より少ない。年間の一人当りの寄付額を増やす様、奨学生派遣数は寄付額により決まる。留学生の資金を贈る仕事が財団の仕事ゆえ、これらを理解された上での寄付を。

○ 米山奨学委員会 (土岐委員長)

(G) 日本全国の昨年の実績は、5億6千9百万円という巨額が集まる。中でも266地区は成績が良い。感謝している。

○ 青少年委員会 (倉橋委員長)

(G) ローターアクトの方は、積極的にしてほしい。育ててゆく力は充分ついている。若い会員の多い内に作った方が利点が多い。

ガバナー総評

他クラブでは作っていない、例えば会長イレクトというポストを作り、委員会作りも順調に進んでいる様に思う。

全体的に大いにやる気が感じられ、残る10ヶ月計画書に基づいて実行される事を望みます。

※ 午後4時、副会長の閉会の言葉で、公式訪問クラブ協議会を終える。